

科目名	初等社会		担当教員	北村 安裕	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED1SRE208
期待される学修成果	教科教育 自己形成				
アクティブ・ラーニングの要素	プレゼンテーション				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	本講義では、実践的なプレゼンテーションと意見交換等を通じて、小学校の社会科に関わる知識・技能を身につけてもらうことを目標とする。あわせて、日本列島各地の多様な自然・地理・歴史・文化などについて理解を深め、小学校社会科の基礎を固めてほしい。				
授業の概要	本講義は、学生によるプレゼンテーションと意見交換を主軸にすえて行う。学生には、担当する都道府県について、自然・地理・歴史・文化などからテーマを定め、それに沿った旅のプランを組み立てて発表してもらう。発表、およびその後の質疑応答を通じて、日本列島の各地域の自然・地理・歴史・文化の特徴について理解を深め、小学校の社会科の基礎となる部分を習得してもらうとともに、自らが授業をしていく上でもっとも基礎となるプレゼンテーション能力を身につけてもらう。				

授業計画	
第1回	日本列島の多様性について
第2回	みじかな地域 一岐阜・愛知・三重・静岡
第3回	近畿1 一滋賀・京都・奈良
第4回	近畿2 一大阪・和歌山・兵庫
第5回	中国・四国1 一徳島・香川・愛媛・高知
第6回	中国・四国2 一岡山・広島・鳥取・島根・山口
第7回	九州・沖縄1 一福岡・大分・佐賀・長崎
第8回	九州・沖縄2 一熊本・宮崎・鹿児島・沖縄
第9回	北陸・中部 一福井・石川・富山
第10回	北陸・中部2 一新潟・長野・山梨
第11回	関東1 一東京・神奈川・千葉・埼玉
第12回	関東2 一群馬・茨城・栃木
第13回	東北・北海道1 一福島・山形・宮城
第14回	東北・北海道2 一秋田・岩手・青森・北海道
第15回	まとめ

事前学修	2時間	プレゼンテーションの準備をする。また、授業範囲の都道府県について下調べをする。
事後学修	2時間	授業内容の復習をする。
フィードバックの方法	毎回提出してもらう小レポートの内容について、教員が適宜コメントする。	

成績評価方法	割合 (%)	評価基準等
上記以外の試験・平常点評価	70%	プレゼンテーション、小レポート、まとめの課題
レポート	30%	4000字程度のレポート
定期試験	0%	
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料				

科目名	初等社会		担当教員	高田 準一郎	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED1SRE208
期待される学修成果	教科教育 自己形成				
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	小学校社会科の目標や学習内容を踏まえ、社会の見方や考え方に関わる知識や技能を学びます。日本の諸地域の地理や文化遺産について考察を深め、広い視野から実践的に探究していきます。到達目標は、教科教育における専門的な知識と実践的な指導力を身に付けることです。				
授業の概要	小学校社会科の学習内容を踏まえ、日本の諸地域の地理では、日本の西部や日本の中央部、日本の東部におけるそれぞれの自然のすがたや地域の産業、地域の特産物などについて、また日本の諸地域の歴史では、郷土の人物や文化遺産などについて、それぞれ考察を深め、広い視野から実践的に探究していきます。さらに発展的な課題を通して、社会を捉える見方や考え方を深めていきます。このような考察や探究を通して、教科教育における専門的な知識と実践的な指導力を身に付けていきます。				

授業計画	
第1回	日本の諸地域や日本の文化遺産からみた社会の見方や考え方
第2回	日本の西部（1）：九州地方の地理
第3回	日本の西部（2）：九州地方の文化遺産
第4回	日本の西部（3）：中国・四国地方の地理
第5回	日本の西部（4）：中国・四国地方の文化遺産
第6回	日本の中央部（1）：近畿地方の地理
第7回	日本の中央部（2）：近畿地方の文化遺産
第8回	日本の中央部（3）：中部地方の地理
第9回	日本の中央部（4）：中部地方の文化遺産
第10回	日本の中央部（5）：関東地方の地理
第11回	日本の中央部（6）：関東地方の文化遺産
第12回	日本の東部（1）：東北地方の地理
第13回	日本の東部（2）：東北地方の文化遺産
第14回	日本の東部（3）：北海道地方の地理
第15回	日本の東部（4）：北海道地方の文化遺産

事前学修	2時間	配付されたレジュメやワークシートの課題をやっておく。
事後学修	2時間	授業ごとに学び得たことを整理し、まとめておく。
フィードバックの方法	授業カードやワークシートの課題への記入を確認し、必要に応じてコメントする。課題レポートについて、評価した観点に即してコメントする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	50%	補足事項を参照
上記以外の試験・平常点評価	50%	補足事項を参照
定期試験	0%	
補足事項	レポート：問題意識が明確か。論理整合性をもって文が展開されているか。一次文献を踏まえるなど論文作法が適切か。 上記以外の試験・平常点：授業の目標に即して学びを深めることができたか。発表やプレゼンなどでわかりやすい説明や伝え方がで	

きたか。

教科書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
楽しく学ぶ小学生の地図帳	帝国書院編集部編	帝国書院	978-4-8071-6419-6	丸善にて注文、購入

参考資料

適宜、指示します。